

4:21 【主】はモーセにこう告げられた。

4:22 「あなたはまた、ゲルシオン族の頭数を、その一族ごと、氏族ごとに調べ、

4:23 三十歳以上五十歳までの者で会見の天幕で任務に当たり、奉仕をすることのできる者をすべて登録しなければならない。

4:24 ゲルシオン人諸氏族のなすべき奉仕と運ぶ物は次のとおりである。

4:25 幕屋の幕、会見の天幕とその覆い、その上に掛けるじゅごんの皮の覆い、会見の天幕の入り口の垂れ幕を運び、

4:26 また庭の掛け幕、幕屋と祭壇の周りを取り巻く庭の門の入り口の垂れ幕、それらのひも、およびそれらに用いるすべての用具を運び、これらに関係するすべての奉仕をしなければならない。

4:27 ゲルシオン族のすべての奉仕、すなわち、彼らが運ぶすべての物と彼らのすべての仕事は、アロンとその子らの命令によらなければならない。あなたがたは彼らに、任務として、彼らが運ぶ物をすべて割り当てなければならない。

4:28 以上がゲルシオン人諸氏族の会見の天幕における奉仕で、彼らの任務は祭司アロンの子イタマルの指揮下にある。

4:29 メラリ族について、あなたはその氏族ごと、一族ごとに、彼らを登録しなければならない。

4:30 三十歳以上五十歳までの者で、務めに就き、会見の天幕の奉仕をすることができる者たちをすべて、登録しなければならない。

4:31 会見の天幕での彼らのすべての奉仕の中で、彼らが任務として運ぶ物は次のとおりで

ある。幕屋の板、その横木、その柱とその台座、

4:32 庭の周りの柱と、その台座、杭、ひも、これらの備品と、その奉仕に使うすべての物である。あなたがたは、彼らが任務として運ぶ備品を、名を挙げて割り当てなければならない。

4:33 これが会見の天幕でのすべての仕事に関するメラリ人諸氏族の奉仕で、これは祭司アロンの子イタマルの指揮下にある。」

ケハテ族が証の箱や祭壇の器具を扱ったことからすると、ゲルシオン族が携わるものは周縁的なものに感じます。しかし、これも主から課せられたものであり、それゆえに尊いのです。ですから私たちが第一に問われるのは、何の奉仕を担うかではなく、どのように奉仕に取り組んでいるかなのです。

その点において、「アロンとその子らの命令によらなければならない。…指揮下にある。」と主が言われたことには真理があります。主に従っている、信仰がある…と言っているが、人には従えない思いも、私たちの内にあるからです。人間は完全ではありませんが、その不完全なもののさえも用いて、ご計画を進められるのが完全な神です。

ゲルシオン族は「アロンとその子ら」に従いましたし、アロンたちは働き人に仕事を任せました。互いに不完全な者に主がどのように働かれるのかを、見きわめることができるのが、成熟した信仰者です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

